

三菱電機 FA センサ

MELSENSOR

GOT画像モニタガイド -FTP編-

目次

1 はじめに	2
1.1 FTP による GOT 画像モニタ	2
1.2 関連マニュアル	2
2 機器構成	3
2.1 使用機器	3
2.2 機器構成図	5
3 GOT の設定	6
3.1 FTP 設定	6
3.2 表示画面設定	10
4 ビジョンセンサの設定	18
4.1 FTP 設定	18
5 動作確認	22
付録 1 GOT 対応一覧	24
付録 2 GT21 シリーズを使用する場合	28
付 2.1 画面更新方法	28
付録 3 コードリーダを使用する場合	34
改訂履歴	37
商標	38

1 はじめに

本資料は、ビジョンセンサもしくはコードリーダで撮像した画像データを GOT に FTP 転送することで、GOT で画像をモニタする方法を説明する資料です。

1.1 FTP による GOT 画像モニタ

ビジョンセンサの FTP 通信は、画像保存を目的としていますが、その機能を利用して GOT で画像をリアルタイムモニタすることができます。ただし、一度、SD カード等へ書き込まれたデータを読み出して画像表示することになるため、高いフレームレートに対応できません。高頻度で画像更新がかかる状態になると、描画更新の遅れや GOT の処理が一時フリーズする状況になるため、目安として、2FPS 以下の画像モニタ用途にて使用されることを推奨いたします。

1.2 関連マニュアル

最新の e-Manual およびマニュアル PDF は、三菱電機 FA サイトからダウンロードできます。

www.MitsubishiElectric.co.jp/fa

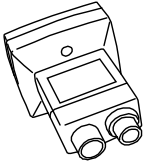





マニュアル名称[マニュアル番号]	内容
ビジョンセンサ VS シリーズ設定ガイド [BCN-P5999-1016]	ビジョンセンサVS シリーズをIn-Sight Explorer で設定する際に、より詳細な設定手順を確認したい場合に参照してください。
コードリーダ設定ガイド [BCN-P5999-1257]	コードリーダCF シリーズをDataMan Setup Tool で設定する際に、より詳細な設定手順を確認したい場合に参照してください。
GT Designer3 (GOT2000) 画面設計マニュアル [SH-081219]	GOT を GT Designer3 で設定する際に、より詳細な設定手順を確認したい場合に参照してください。
GT Designer3 Version1 画面設計マニュアル(作画編) 1/2, 2/2 [SH-080836]	
GOT2000シリーズ 本体取扱説明書(ハードウェア編) [SH-081186]	GOT の電源を配線する際に参照してください。
GT16 本体取扱説明書(ハードウェア編) [SH-080923]	GOT の電源を配線する際に参照してください。
GT15 本体取扱説明書(ハードウェア編) [SH-080507]	
GT14 本体取扱説明書 [JY997D44101]	






2 機器構成

2.1 使用機器

以下の機器およびソフトウェアを準備してください。

なお、記載する機器およびソフトウェアのバージョンは、本資料で使用した一例です。

三菱電機製			
品名 / 形名	模式図	品名 / 形名	模式図
ビジョンセンサ / VS20C-13F410 Ver.5.06.02 PR1(086)		グラフィックオペレーションターミナル GOT 2000 シリーズ / GT2505-VTBD Ver.1.215Z	
MELSOFT GT Works3 / GTD3_2000-J Ver.1.215Z		-	-
COGNEX 製			
品名 / 形名	模式図	品名 / 形名	模式図
Ethernet ケーブル / CCB-84901-2001-XX		ブレークアウトケーブル / CCB-PWRIO-XX	
In-Sight Explorer ^{*1)} / - Ver.5.06.02 PR1(086)		-	-

市販品			
品名	模式図	品名	模式図
パソコン		スイッチング HUB	
USB ケーブル (Type Mini-B)		Ethernet ケーブル	
DC24V 電源		-	-

*1) 下記サイトからダウンロードできます。

<https://support.cognex.com/ja-jp/downloads/mitsubishi-electric-melsensor/vs-series>

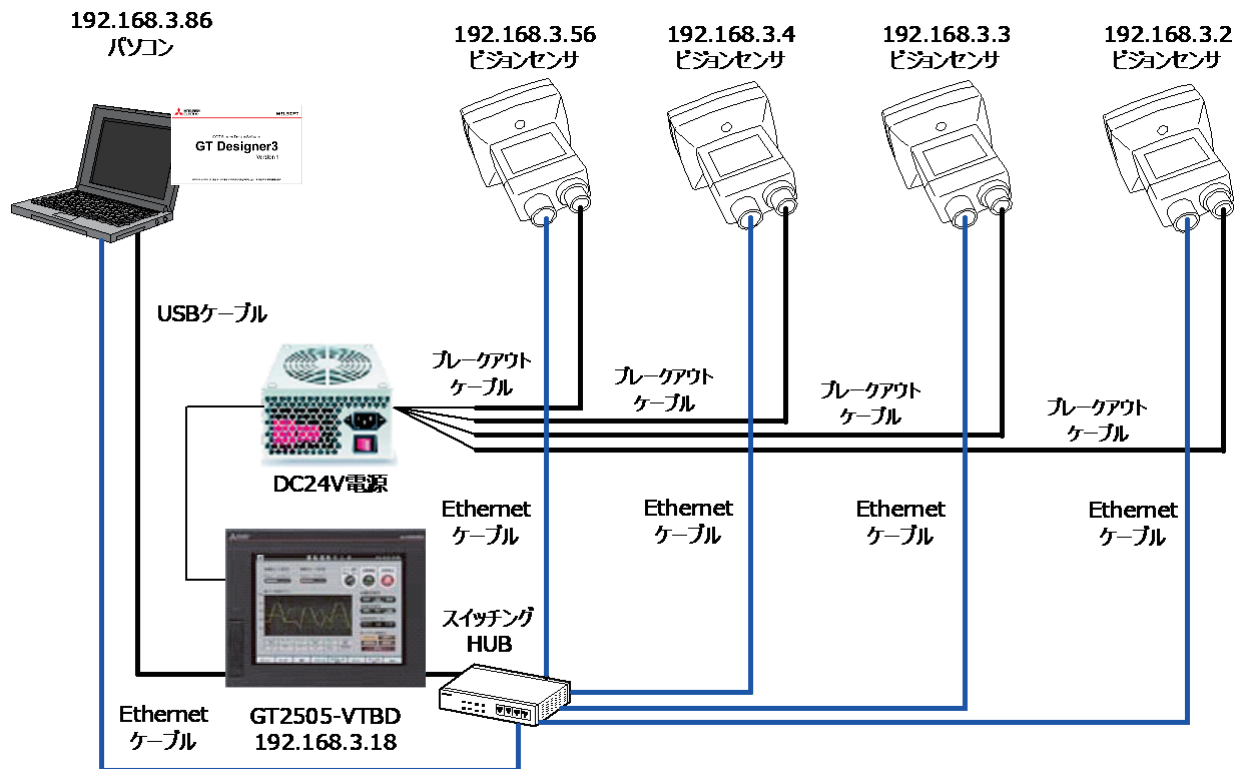
注 記

・GT21 モデルは Ethernet 通信ポートを搭載している機種のみ対応しています。

GOT の対応機種一覧は[付録 1 GOT 対応一覧](#)を参照してください。

2.2 機器構成図

本資料で扱うシステム構成を示します。IP アドレスは本資料で使用する一例です。



注 記

- ・上図では、GOT 本体の電源電圧に DC24V を使用しておりますが、GOT の機種によって本体の電源電圧が異なります。機種にあった電源をご使用ください。電源電圧は各 GOT の「[本体取扱説明書\(ハードウェア編\)](#)」の電源部仕様をご確認ください。

3 GOT の設定

GT Designer3 で GOT の設定を行います。本マニュアルでは GT2505-VTBD を例として説明します。本例を基に、GT25 シリーズ、GT27 シリーズ、GOT1000 シリーズの設定が可能です。GT21 シリーズの設定方法は、[付録 2 GT21 シリーズを使用する場合](#)を参照してください。なお、本例ではプロジェクトの作成方法は省略しております。

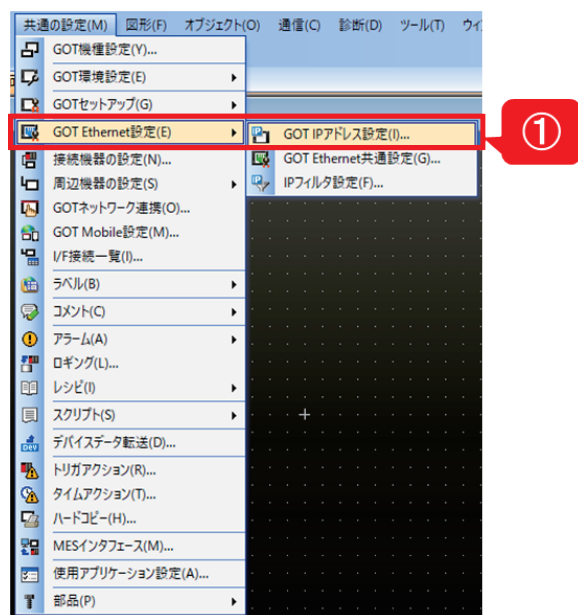
注 記

・GOT1000 シリーズはメモリアクセスが禁止されているため、FTP 通信するには、メモリアクセス禁止を解除する必要があります。VS20 シリーズはメモリアクセス禁止の解除コマンドに対応していないため、GOT1000 シリーズと FTP 通信できません。

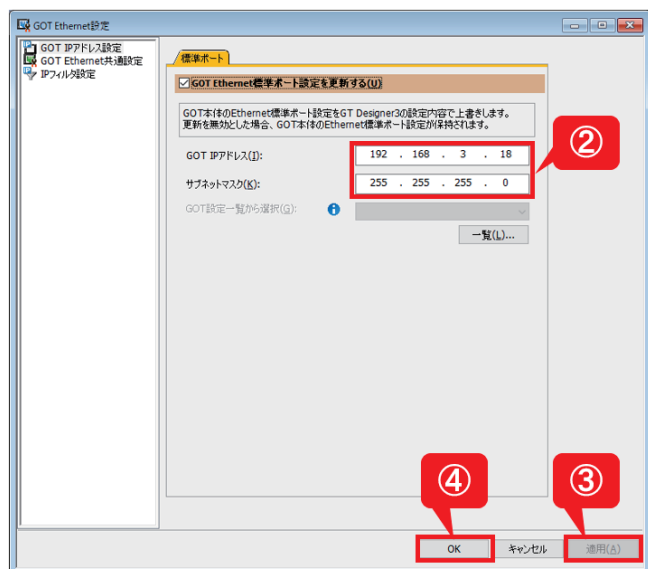
3.1 FTP 設定

GOT の FTP サーバを設定します。

GOT の IP アドレスが既に設定されている場合、手順①～④の設定はスキップできます。



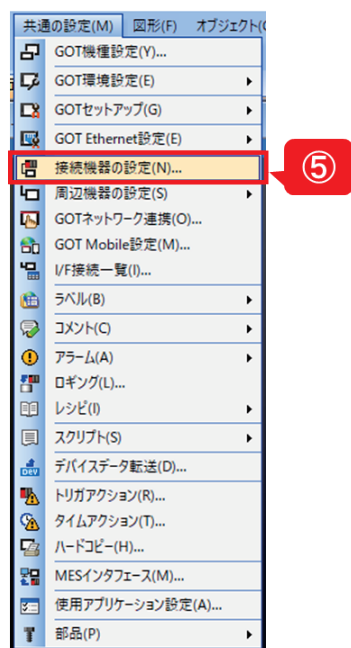
① メニュー[共通の設定]－[GOT Ethernet 設定]－[GOT IP アドレス設定]を選択します。



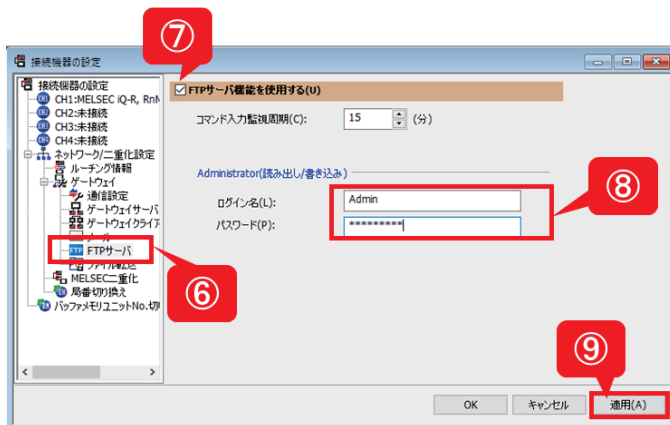
- ② GOT の IP アドレス、サブネットマスクを設定します。本資料では以下の通りに設定します。

GOT IP アドレス	192.168.3.18
サブネットマスク	255.255.255.0

- ③ [適用]ボタンをクリックし、設定を反映します。
- ④ [OK]ボタンをクリックし[GOT Ethernet 設定]ウィンドウを閉じます。



- ⑤ メニュー[共通の設定]－[接続機器の設定]を選択します。



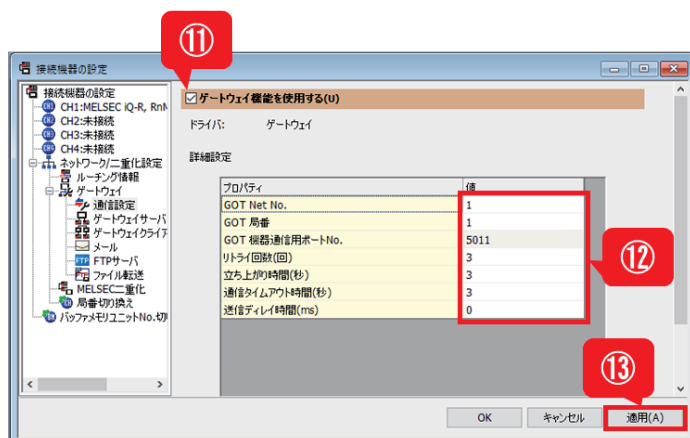
- ⑥ [ネットワーク/二重化設定] - [ゲートウェイ] - [FTPサーバ]を選択します。
- ⑦ [FTPサーバ機能を使用する]にチェックを入れます。
- ⑧ GOTへアクセスする際の[ログイン名]、[パスワード]を設定します。
- ⑨ [適用]ボタンをクリックします。

Point

- ・上図⑧のログイン名、パスワードは [4.1 FTP 設定](#)の手順⑥で同じ内容を設定します。



- ⑩ [はい]ボタンをクリックし、ゲートウェイ機能のウィンドウを開きます。



- ⑪ [ゲートウェイ機能を使用する]にチェックを入れます。
- ⑫ [詳細設定]を設定します。

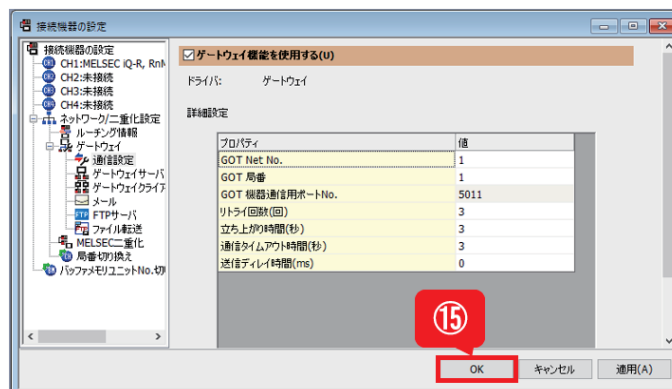
GOT Net No.	1
GOT 局番	1
GOT 機器通信用ポート No.	5011 ^{*1)}
リトライ回数(回)	3
立ち上がり時間(秒)	3
通信タイムアウト時間(秒)	3
通信ディレイ時間(ms)	0

*1) FTP 転送時に使用するポート No. です。

- ⑬ [適用]ボタンをクリックするとウィンドウが開きます。



- ⑭ [OK]ボタンをクリックします。



- ⑮ [OK]ボタンをクリックします。

3.2 表示画面設定

GOT に転送した画像を GOT 上に表示するための画面を作成します。

本資料では、4 台のビジョンセンサで撮影した画像を表示する方法を示します。GOT の動作、画面イメージについては、図 1GOT の動作イメージ図を、システム構成については、[2.2 機器構成図](#)を参照してください。

画面のイメージ図

本章で作成する GOT 画面の動作イメージを下図に示します。

GOT の動作は以下の 2 点です。

- ・ビジョンセンサから FTP 転送される画像(Image1～4)を GOT に装着した SD カードに上書き保存します。
- ・[表示/非表示]ボタン(GB0～3)により、画面 1～4 に Image1～4 の表示(更新)または非更新を切り換えます。

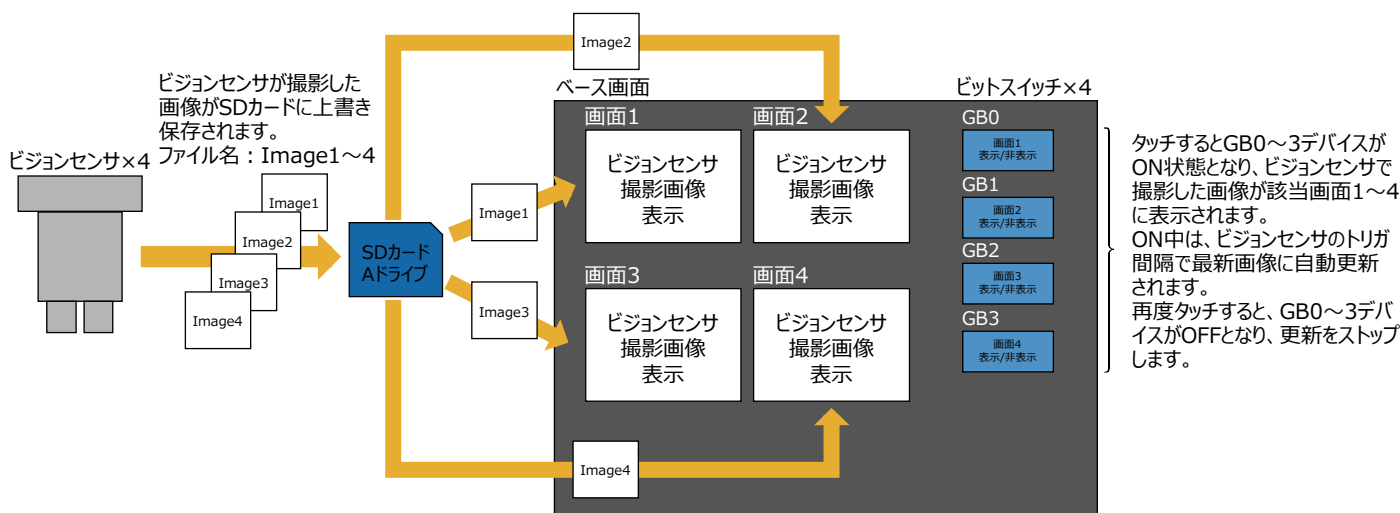
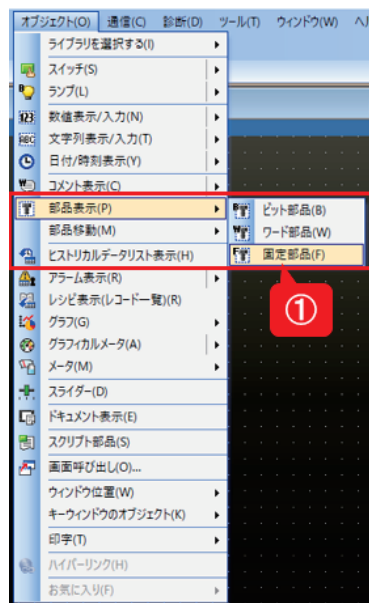


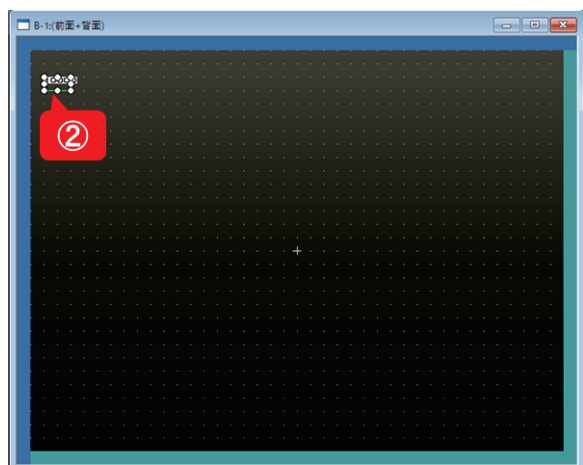
図 1GOT の動作イメージ図

ベース画面の設定

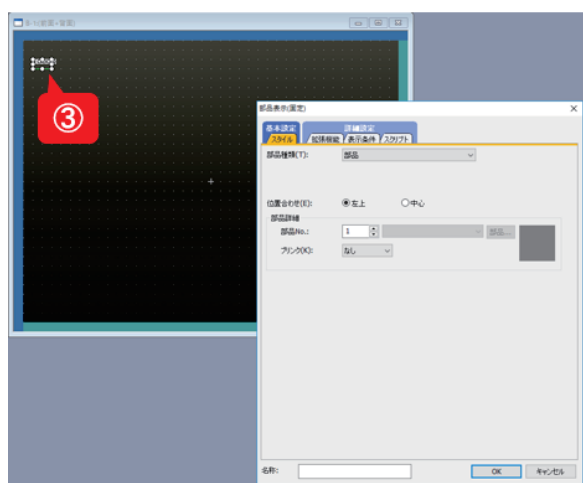
GOT 画面の作成手順を示します。



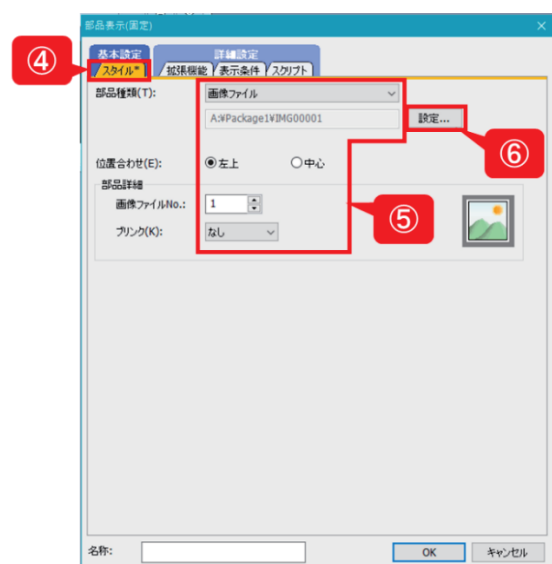
- ① メニュー[オブジェクト]－[部品表示]－[固定部品]を選択します。



- ② ベース画面上にビジョンセンサで撮像した画像を表示するための固定部品の表示位置を指定します。
表示位置は⑤で変更できます。



- ③ 作成した固定部品をダブルクリックし、[部品表示(固定)]ダイアログを表示します。



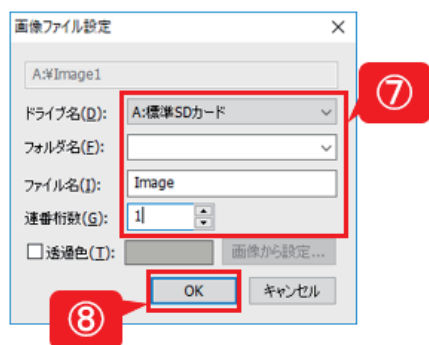
- ④ [スタイル]タブを選択します。

⑤ 以下を設定します。

部品種類	画像ファイル
位置合わせ	左上
画像ファイル No.	1 *1)
リンク	なし

*1) 画像ファイル No.はビジョンセンサ毎に設定してください。本資料では、ビジョンセンサ毎に画像ファイル No.を [1～4]に設定します。

⑥ [設定]ボタンをクリックし[画像ファイル設定]ウィンドウを開きます。



⑦ 以下を設定します。

ドライブ名	A：標準 SD カード *2)
フォルダ名	設定しません
ファイル名	Image
連番桁数	1 *3)
透過色	チェックしません

*2) 使用する記憶媒体、ドライブに応じて、標準 SD カードまたは USB ドライブをドロップダウンリストから選択できます。

*3) 接続するビジョンセンサの台数に応じて変更してください。本資料では、画像ファイル No.1～4 それぞれで上書き保存し、連番で保存しないため、連番桁数は[1]を設定します。

⑧ [OK]ボタンをクリックし、ウィンドウを閉じます。



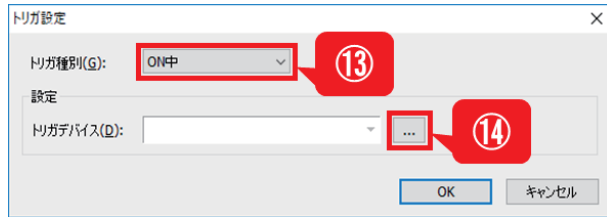
⑨ [スクリプト]タブを選択し、スクリプトを用いて、ビジョンセンサから送信された最新の画像データを常に表示するための設定を行います。

⑩ [オブジェクトスクリプトを有効にする]にチェックを入れます。

- ⑪ 以下を設定します。

スクリプトユーザ ID	1
データ形式	符号なし BIN16

- ⑫ [トリガ設定]ボタンをクリックし、ウィンドウを開きます。



- ⑬ 以下を設定します。

トリガ種別	ON 中
-------	------

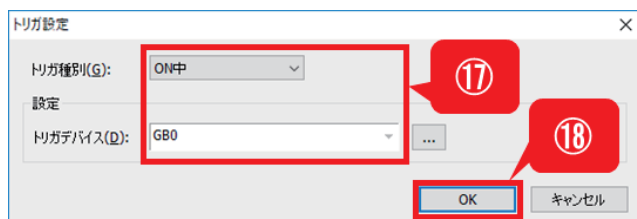
- ⑭ [...]ボタンをクリックします。



- ⑮ デバイスに[GB]、[0]を設定します。

※本資料では、画面表示用ボタン 1～4 それぞれに[GB0]、[GB1]、[GB2]、[GB3]を設定します。

- ⑯ [OK]ボタンをクリックします。



- ⑰ 以下の設定になっていることを確認します

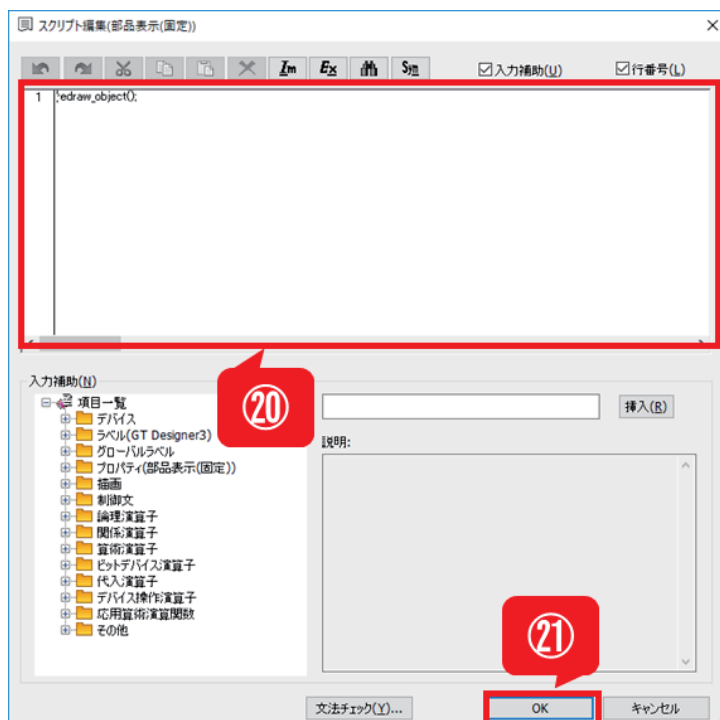
トリガ種別	ON 中
トリガデバイス	GB0 *4)

*4) トリガデバイスは作成する画像表示用ボタンによってデバイス番号が異なります。本資料では、画面表示用ボタン 1～4 それぞれに[GB0]、[GB1]、[GB2]、[GB3]を設定します。

- ⑱ [OK]ボタンをクリックします。



①⑨ [スクリプト編集]ボタンをクリックし、[スクリプト編集(部品表示(固定))]ウィンドウを開きます。



②⑩ 以下を入力します。

```
redraw_object();
```

②⑪ [OK]ボタンをクリックします。



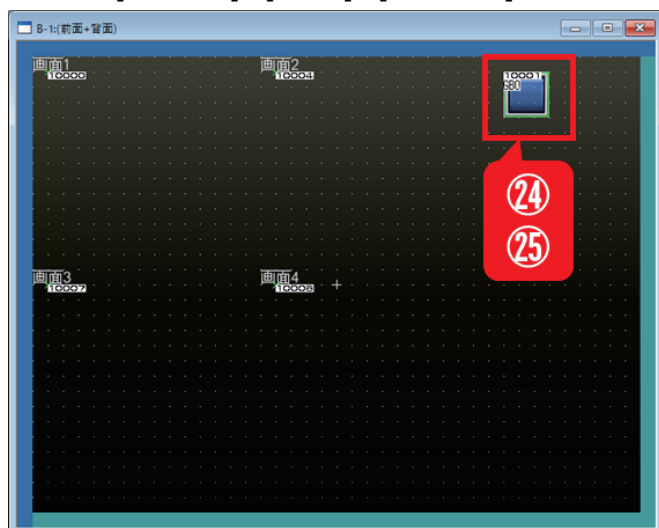
② [OK]ボタンをクリックします。

①から②と同様の手順で、残り3つの固定部品を作成します。

※⑤の画像ファイル No. と ⑮,⑯のトリガデバイス は各部品で設定変更してください。



③ メニュー[オブジェクト]－[スイッチ]－[ビットスイッチ]を選択します。



②④ ベース画面上の任意の場所をクリックし、ビットスイッチを作成します。

このビットスイッチは①から②②で設定した固定部品にビジョンセンサで撮像した画像を表示するために使用します。

②⑤ 作成したビットスイッチをダブルクリックし、[ビットスイッチ]ウィンドウを開きます。

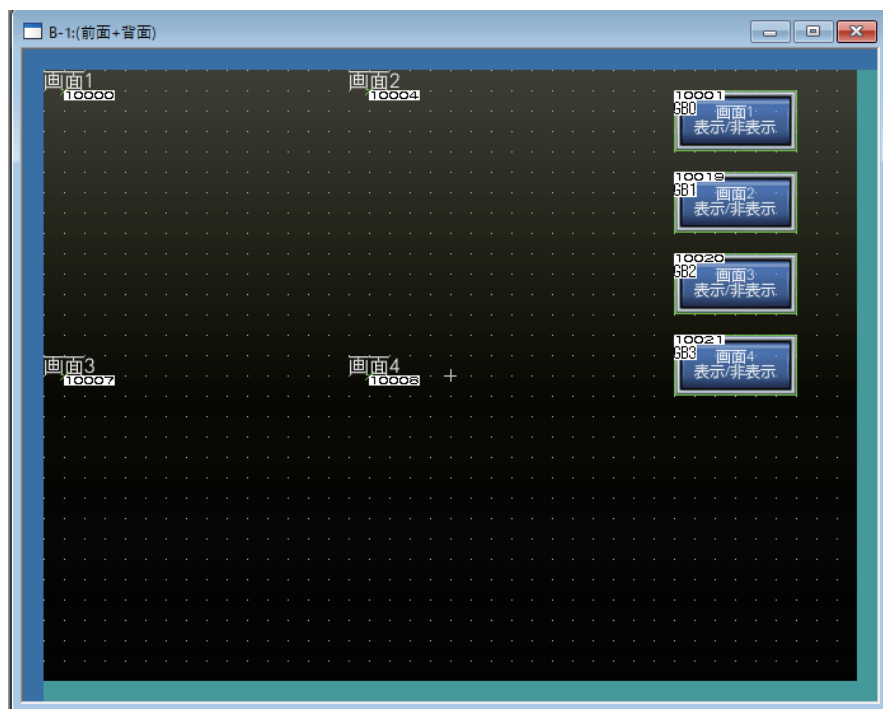


②⑥ [デバイス]タブを選択し、以下を設定します。

スイッチ機能 デバイス	GB0 *5)
動作設定	ビット反転
ビットの ON/OFF	チェックします
ランプ機能(図形/文字の変更タイミング) デバイス	GB0 *5)

*5) デバイスは作成する画像表示用ボタンによってデバイス番号が異なります。本資料では、画面表示用ボタン 1～4 それぞれに[GB0]、[GB1]、[GB2]、[GB3]を設定します。

②⑦ [OK]ボタンをクリックします。



㊸ 作成完了した画面を保存し、GOTへ書込みます。

4 ビジョンセンサの設定

In-Sight Explorer を使用し、ビジョンセンサから GOT へ画像転送するための FTP 設定手順を示します。

コードリーダから GOT へ画像転送する場合は、[付録 3 コードリーダを使用する場合](#)を参照してください。

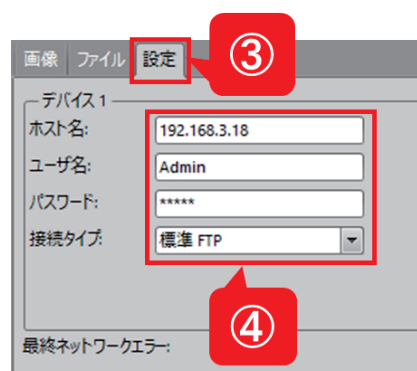
4.1 FTP 設定

ビジョンセンサの FTP 通信設定手順を示します。



① [アプリケーションステップ]の[通信]を選択します。

② [通信]の[FTP]をクリックします。



③ [設定]タブを選択します。

④ 以下を設定します。

ホスト名(GOT の IP アドレス)	192.168.3.18
ユーザ名	3.1 FTP 設定 の⑧で設定したユーザ名
パスワード	3.1 FTP 設定 の⑧で設定したパスワード
接続タイプ	標準 FTP *1)

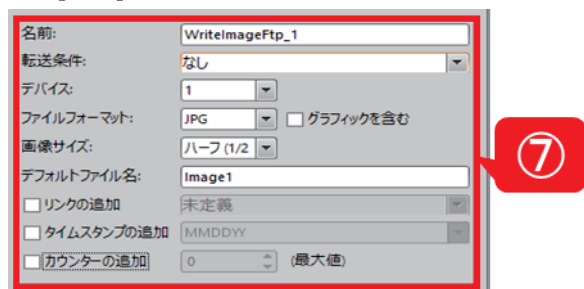
*1) GOT1000 シリーズに接続する場合は[三菱 GOT]を選択します。ただし、VS20 シリーズでは、[三菱 GOT]を選択できません。

- ・GOT1000 シリーズはメモリアクセスが禁止されているため、FTP 通信するには、メモリアクセス禁止を解除する必要があります。手順④の接続タイプで[三菱 GOT]を設定することで、メモリアクセス禁止を解除するコマンドがビジョンセンサから GOT へ送信され、FTP 通信可能となります。
- ・VS20 はメモリアクセス禁止の解除コマンドに対応していないため、GOT1000 シリーズとの FTP 通信はできません。



⑤ [画像]タブを選択します。

⑥ [追加]ボタンをクリックします。



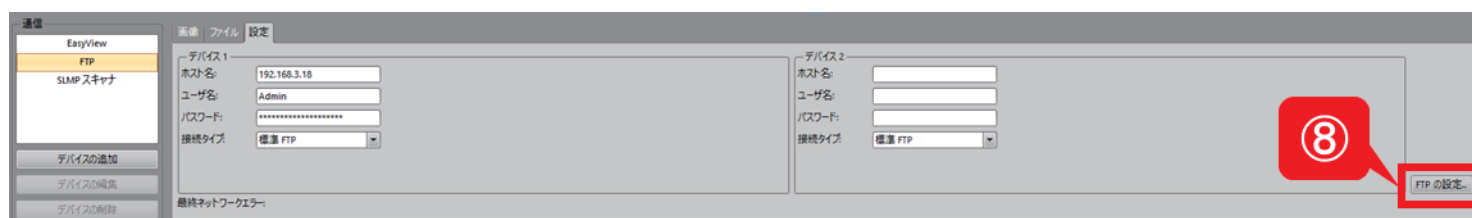
⑦ 以下を設定します。以下は一例のため、使用環境に合わせて各項目を設定してください。

名前	WriteImageFtp_1
転送条件	なし
デバイス	1
ファイルフォーマット	JPG
画像サイズ	ハーフ(1/2)
デフォルトファイル名	Image1
リンクの追加	チェックしません
タイムスタンプの追加	チェックしません
カウンターの追加	チェックしません

注 記

- ・画像サイズは GOT の画面サイズ、解像度に合わせて、設定してください。ビジョンセンサから転送する画像が、GOT の画面サイズより大きい場合、画面サイズに納まらない箇所は表示されません。
- ・[デフォルトファイル名]の末尾の番号は各ビジョンセンサで異なる番号を使用してください。本資料では、Image1～4 を使用します。
- ・[リンクの追加]をチェックした場合、ファイル名の最後に選択したツールのリンク結果が付加されます。その場合、[3.2 表示画面設定](#)で設定したファイル名と異なるファイル名となり、GOT で画像表示できなくなるためチェックしません。
- ・[タイムスタンプの追加]をチェックした場合、ファイル名の最後に日付が付加されます。その場合、[3.2 表示画面設定](#)で設定したファイル名と異なるファイル名となり、GOT で画像表示できなくなるためチェックしません。
- ・[カウンターの追加]をチェックした場合、ファイル名の最後に連番が付加されます(連番は 0～999 の任意の数値を設定できます)。その場合、[3.2 表示画面設定](#)で設定したファイル名と異なるファイル名となり、GOT で画像表示できなくなるためチェックしません。

※必要に応じて手順⑧～⑩を実施します。



- ⑧ [通信]の[FTP]－[設定]－[FTP の設定]ボタンをクリックします。



- ⑨ 表示された[FTP の設定]ウィンドウの各項目を設定します。上図は一例のため、各項目は使用環境に合わせて設定してください。

注 記

GOT と FTP 通信する場合、[FTP 設定]ウィンドウ内のリモートポートは必ず[21]を設定してください。[21]以外の番号を設定すると、GOT と通信できなくなります。

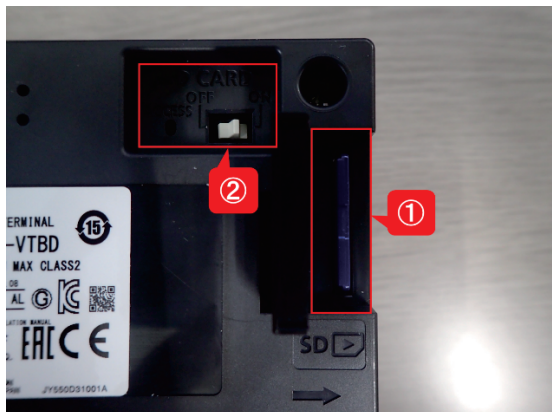
- ⑩ [OK]ボタンをクリックします。



- ⑪ [アプリケーションステップ]内の[ジョブの保存]を選択します。
- ⑫ [保存]ボタンまたは[名前を付けて保存]ボタンからジョブを保存します。

5 動作確認

設定したシステムの動作確認手順を示します。



- ① GOT 本体に SD カードを装着します。
- ② GOT 本体の SD カードアクセススイッチを ON します。
※SD カードアクセススイッチの搭載されていない GOT の場合、本作業は不要です。
- ③ システムの電源を ON します。



- ④ ビジョンセンサ起動後、In-Sight Explorer にてビジョンセンサをオンラインにします。



- ⑤ GOT 起動後、画面に表示された[表示/非表示]ボタンをタッチすると、画像の表示・自動更新が開始します。
※画像サイズ、ビジョンセンサの接続台数によっては、GOT の起動に数分の時間を要することがあります。



- ⑥ 画像の自動更新を停める場合は、[表示/非表示]ボタンをタッチします。再度、画像の自動更新を開始する場合は、[表示/非表示]ボタンをタッチしてください。

注 記

- GOT 本体に必ず SD カードを装着してください。画像の保存先に SD カードを設定しているため、SD カードを装着していない場合、画像が表示されません。画像の保存先に USB メモリを設定している場合は、必ず保存先として設定したドライブへ USB メモリを装着してください。
- GOT 本体に SD カードアクセススイッチが搭載されている場合、スイッチを ON にしてください。スイッチが OFF の場合、GOT 本体に SD カードを装着しても SD カードへ画像が保存されません。
- ビジョンセンサは必ずオンラインにしてください。オンラインでない場合、画像が FTP 転送されません。

付録 1 GOT 対応一覧

一覧表内の[FTP 対応]－[可否]項目が[×] (灰色網掛け部)の機種は FTP 転送機能に対応していません。

・GOT2000 シリーズ

モデル	形名	FTP 対応			
		可否 ^{*1)}	保存先 ^{*2)}		画像更新のSCRIPT機能 ^{*3)}
			SD カード	USB メモリ	
GT27	GT2715-XTBA	○	○	○	○
	GT2715-XTBD	○	○	○	○
	GT2712-STBA	○	○	○	○
	GT2712-STBD	○	○	○	○
	GT2712-STWA	○	○	○	○
	GT2712-STWD	○	○	○	○
	GT2710-STBA	○	○	○	○
	GT2710-STBD	○	○	○	○
	GT2710-VTBA	○	○	○	○
	GT2710-VTBD	○	○	○	○
	GT2710-VTWA	○	○	○	○
	GT2710-VTWD	○	○	○	○
	GT2708-STBA	○	○	○	○
	GT2708-STBD	○	○	○	○
	GT2708-VTBA	○	○	○	○
	GT2708-VTBD	○	○	○	○
	GT2705-VTBD	○	○	○	○
	GT2712-STBA-EX-U	○	○	○	○
	GT2712-STBD-EX-U	○	○	○	○
	GT2712-STBA-EX-N	○	○	○	○
	GT2712-STBD-EX-N	○	○	○	○
	GT2712-STBA-EX-H	○	○	○	○
	GT2712-STBD-EX-H	○	○	○	○
GT25	GT2512-STBA	○	○	○	○
	GT2512-STBD	○	○	○	○
	GT2510-VTBA	○	○	○	○
	GT2510-VTBD	○	○	○	○
	GT2510-VTWA	○	○	○	○
	GT2510-VTWD	○	○	○	○
	GT2508-VTBA	○	○	○	○
	GT2508-VTBD	○	○	○	○
	GT2508-VTWA	○	○	○	○
	GT2508-VTWD	○	○	○	○
	GT2505-VTBD	○	○	○	○

モデル	形名	FTP 対応			
		可否 ^{*1)}	保存先 ^{*2)}		画像更新のスクリプト 機能 ^{*3)}
			SD カード	USB メモリ	
GT25	GT2510-WXTBD	○	○	○	○
	GT2510-WXTSD	○	○	○	○
	GT2507-WTBD	○	○	○	○
	GT2507-WTSD	○	○	○	○
	GT2507T-WTSD	○	○	○	○
	GT2512F-STNA	○	○	○	○
	GT2512F-STND	○	○	○	○
	GT2510F-VTNA	○	○	○	○
	GT2510F-VTND	○	○	○	○
	GT2508F-VTNA	○	○	○	○
	GT2508F-VTND	○	○	○	○
	GT2506HS-VTBD	○	○	○	○
	GT2505HS-VTBD	○	○	○	○
GT21	GT2105-QTBDS	×	○	×	×
	GT2105-QMBDS	×	○	×	×
	GT2104-RTBD	○	○	×	×
	GT2104-PMBD	○	○	×	×
	GT2104-PMBDS	×	○	×	×
	GT2104-PMBDS2	×	○	×	×
	GT2104-PMBLS	×	×	×	×
	GT2103-PMBD	○	△	×	×
	GT2103-PMBDS	×	△	×	×
	GT2103-PMBDS2	×	△	×	×
	GT2103-PMBLS	×	×	×	×
	GT2107-WTBD	○	○	○	×
	GT2107-WTSD	○	○	○	×

*1) ○ : 転送可能、× : 転送不可

*2) ○ : 保存可能、× : 保存不可、△ : オプションの GT21-03SDCD が必要

*3) ○ : 有、× : 無

モデル	形名	FTP 対応			
		可否 *1)	保存先 *2)		画像更新のスクリプト機能 *3)
			SD カード	USB メモリ	
GT16	GT1695M-XTBA	○	△	○	○
	GT1695M-XTBD	○	△	○	○
	GT1685M-STBA	○	△	○	○
	GT1685M-STBD	○	△	○	○
	GT1675M-STBA	○	△	○	○
	GT1675M-STBD	○	△	○	○
	GT1675M-VTBA	○	△	○	○
	GT1675M-VTBD	○	△	○	○
	GT1675-VNBA	○	△	○	○
	GT1675-VNBD	○	△	○	○
	GT1672-VNBA	○	△	○	○
	GT1672-VNBD	○	△	○	○
	GT1665M-STBA	○	△	○	○
	GT1665M-STBD	○	△	○	○
	GT1665M-VTBA	○	△	○	○
	GT1665M-VTBD	○	△	○	○
	GT1662-VNBA	○	△	○	○
	GT1662-VNBD	○	△	○	○
	GT1655-VTBD	○	△	○	○
	GT1665HS-VTBD	○	△	○	○
GT15	GT1595-XTBA	○	△	×	○
	GT1595-XTBD	○	△	×	○
	GT1585V-STBA	○	△	×	○
	GT1585V-STBD	○	△	×	○
	GT1585-STBA	○	△	×	○
	GT1585-STBD	○	△	×	○
	GT1575V-STBA	○	△	×	○
	GT1575V-STBD	○	△	×	○
	GT1575-STBA	○	△	×	○
	GT1575-STBD	○	△	×	○

モデル	形名	FTP 対応			
		可否 *1)	保存先 *2)		画像更新のスク립ト機能 *3)
			SD カード	USB メモリ	
GT15	GT1575-VTBA	○	△	×	○
	GT1575-VTBD	○	△	×	○
	GT1575-VNBA	○	△	×	○
	GT1575-VNBD	○	△	×	○
	GT1572-VNBA	○	△	×	○
	GT1572-VNBD	○	△	×	○
	GT1565-VTBA	○	△	×	○
	GT1565-VTBD	○	△	×	○
	GT1562-VNBA	○	△	×	○
	GT1562-VNBD	○	△	×	○

*1) ○ : 転送可能、× : 転送不可

*2) ○ : 保存可能、× : 保存不可、△ : CF カードにて対応

*3) ○ : 有、× : 無

付録 2 GT21 シリーズを使用する場合

GT21 シリーズは、画面更新スクリプトの redraw 関数に対応していません。そのため、画面更新を定時間隔で更新する方法を示します。本章の設定は [3.1 FTP 設定](#) を終えてから実施してください。

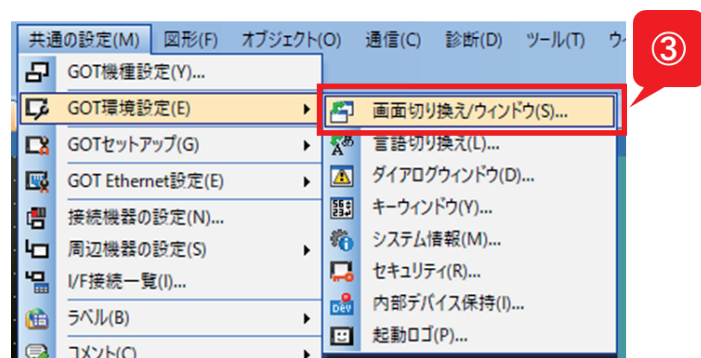
付 2.1 画面更新方法

① [3.2 表示画面設定](#) における手順①～⑧を実施します。

※[画像ファイル No.]はベース画面 1、ベース画面 2 ともに同じ No.を設定します。本章では[Image1]を設定しています。



② [OK]ボタンをクリックします。

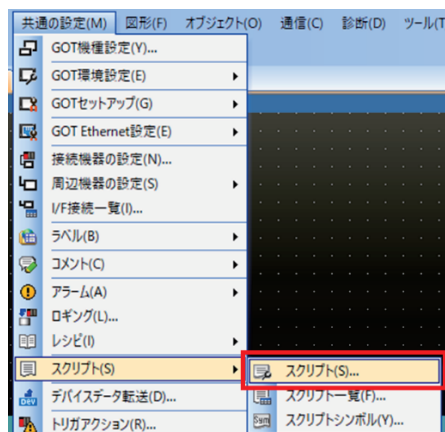


③ [共通の設定] – [GOT 環境設定] – [画面切り換え/ウィンドウ]を選択します。



④ ベース画面に割り付けられているデバイスを確認します。

※確認したデバイスは、後述のベース画面を切り換えるスクリプトを作成するときに使用します。



⑤ [共通の設定]－[スクリプト]－[スクリプト]を選択します。



⑥ [画面]タブをクリックします。

⑦ 以下を設定します。

画面種類	ベース *1)
画面番号	1 *2)

*1) 切り換え設定したい画面種類を設定してください。本章では2枚のベース画面を使用します。

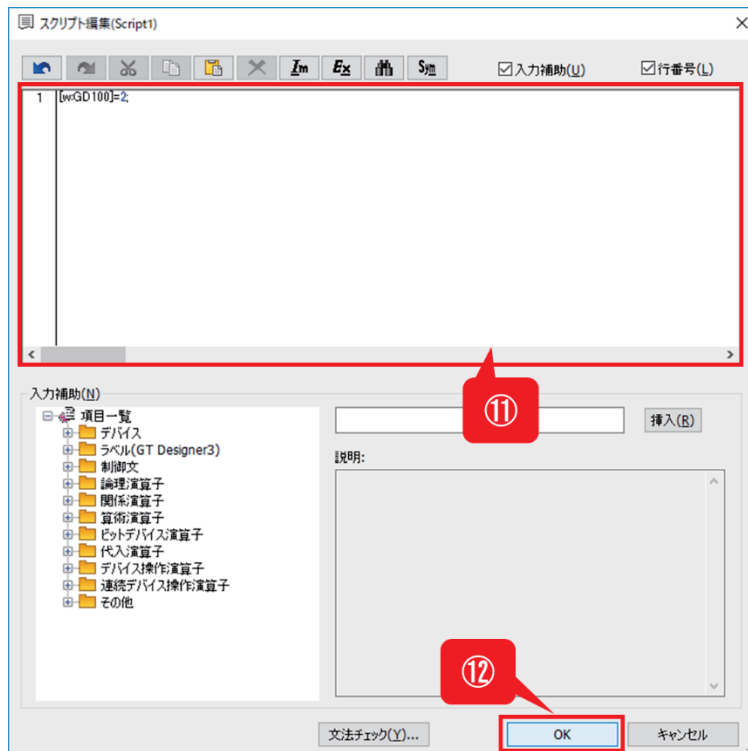
*2) スクリプトを設定したい画面番号を設定してください。画面2のスクリプトを設定したい場合は[2]を設定してください。

⑧ [追加]ボタンをクリックします。



⑨ [スクリプト No.]を設定します。

⑩ [スクリプト編集]ボタンをクリックします。



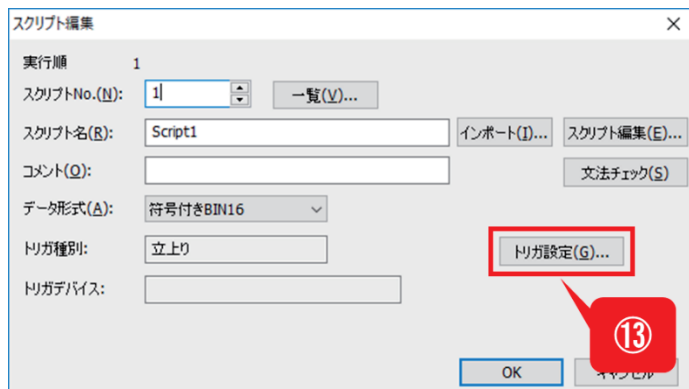
⑪ 以下を入力します。

[w:GD100]=2;

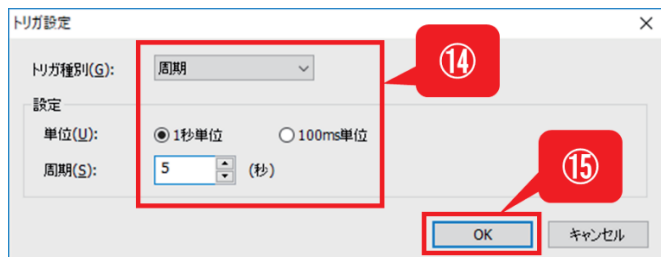
※[GD100]は④で確認をしたベース画面に割り付けられているデバイスです。

ベース画面 1 へ切り換える場合は、[1]を入力してください。

⑫ [OK]ボタンをクリックします。



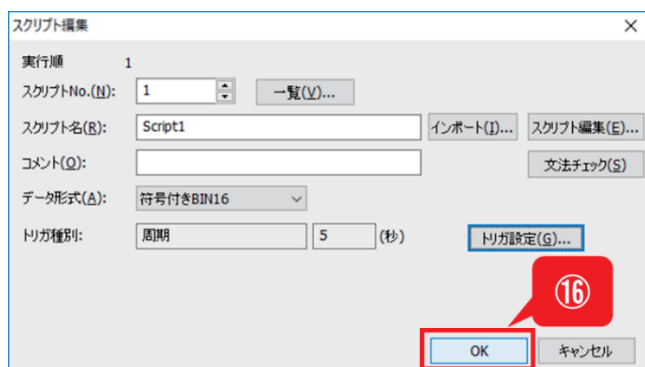
⑬ [トリガ設定]ボタンをクリックします。



⑭ 以下を設定します。

トリガ種別	周期
単位	1 秒単位
周期	5

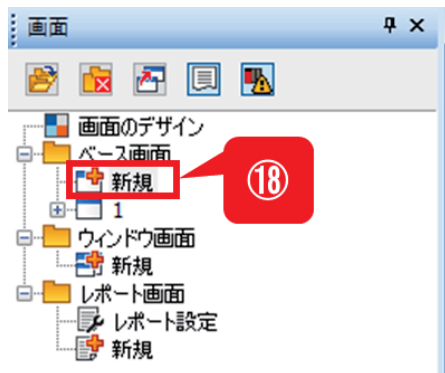
⑮ [OK]ボタンをクリックします。



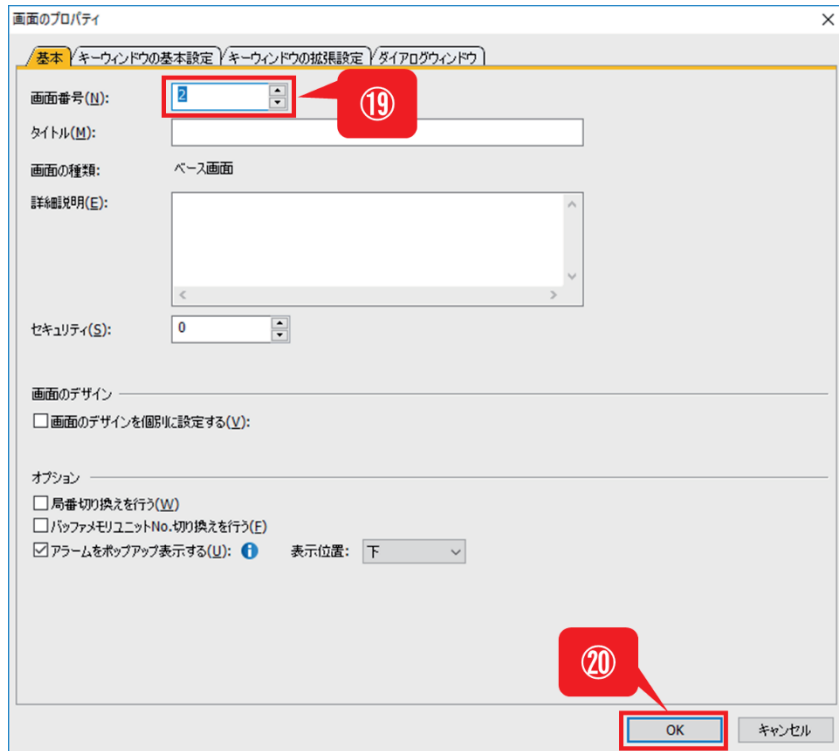
⑯ [OK]ボタンをクリックします。



⑪ [OK]ボタンをクリックします。



⑫ 画面ウィンドウ内の[ベース画面]－[新規]をダブルクリックします。



①⑨ [画面番号]に[2]を設定します。

※ベース画面 2 もベース画面 1 と同様の手順で作成してください。

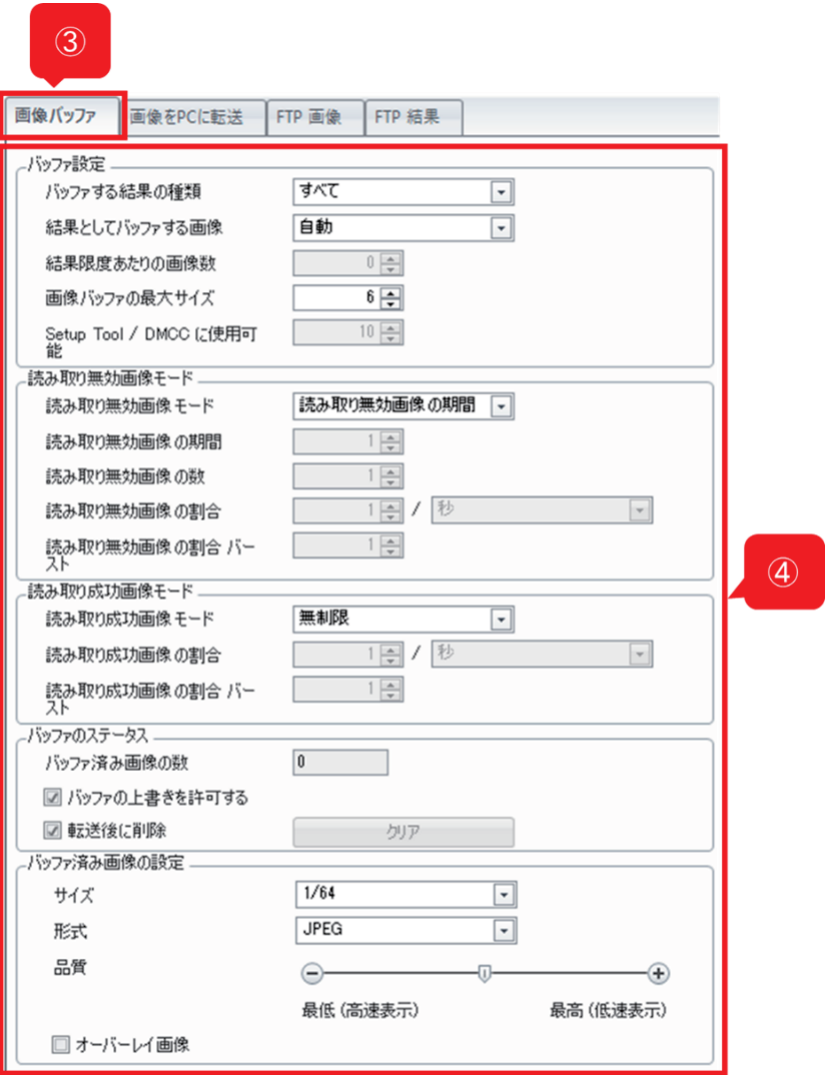
②⑩ [OK]ボタンをクリックします。

付録 3 コードリーダを使用する場合

コードリーダ CF シリーズを使用する際の FTP 転送設定手順を示します。
DataMan Setup Tool を使用し、コードリーダの FTP 通信設定を行います。



- ① メニューの[設定]タブを選択します。
- ② [画像記録と再生]をクリックします。



- ③ [画像バッファ]タブを選択します。[画像バッファ]タブでは、コードリーダに保存する画像を管理します。
- ④ 以下を設定します。

バッファ設定	バッファする結果の種類	すべて
	結果としてバッファする画像	自動
	結果限度あたりの画像数	0

	画像バッファの最大サイズ	6
	Setup Tool / DMCC に使用可能	-
読み取り無効画像モード	読み取り無効画像モード	読み取り無効画像の期間
	読み取り無効画像の期間	-
	読み取り無効画像の数	-
	読み取り無効画像の割合	-
	読み取り無効画像の割合バースト	-
読み取り成功画像モード	読み取り成功画像モード	無制限
	読み取り成功画像の割合	-
	読み取り成功画像の割合バースト	
バッファのステータス	バッファ済み画像の数	0
	バッファの上書きを許可する	チェックします
	転送後に削除	チェックします
バッファ済み画像の設定	サイズ	1/64
	形式	JPEG
	品質	50
	オーバーレイ画像	チェックしません

注 記

・[バッファ済み画像の設定]の[形式]項目で [PNG]を選択できますが、GOT が PNG 形式のファイル表示に非対応のため、画面表示できません。

⑤ [FTP 画像]タブを選択します。

⑥ 以下のように設定します。

FTP 画像	サーバアドレス	192.168.3.18 : 21(FTP ポート番号)
	ユーザー名	3.1 FTP 設定で設定したユーザー名
	パスワード	3.1 FTP 設定で設定したパスワード
	サーバの種類	FTP 三菱 GOT
	待機状態のタイムアウトを有効にする	チェックしません
	待機状態のタイムアウト	－
ファイル名生成法	変更後のファイル名	チェックします
	ファイル名	Image1
	追加上限数	0
	サーバが作成したファイル名	チェックしません
	パス	－
画像データ	バッファ済み画像の数	0
	転送モード	FTP ランタイム

注 記

- ・GOT と FTP 通信する場合、FTP ポート番号は必ず[21]を設定してください。[21]以外の番号を設定すると、GOT と通信ができなくなります。
- ・[FTP ランタイム]設定時、FTP のランタイムに入るキューが使えるメモリには上限があります。1 つのキュー(またはトリガ)で送れるデータの上限は、画像 16 枚または 8 枚+オーバーレイグラフィック 8 枚です。

改訂履歴

*取扱説明書番号は、本説明書の裏表紙の左下に記載してあります。

改訂年月	*取扱説明書番号	改訂内容
2022 年 3 月	L(名)08834-A(MEE)	初版

本書によって、工業所有権その他の権利の実施に対する保証、または実施権を許諾するものではありません。また本書の掲載内容の使用により起因する工業所有権上の諸問題については、当社は一切その責任を負うことができません。

© 2022 MITSUBISHI ELECTRIC CORPORATION

商標

本文中における会社名，システム名，製品名などは，一般に各社の登録商標または商標です。

本文中で，商標記号(™，®)は明記していない場合があります。

三菱電機株式会社 〒100-8310 東京都千代田区丸の内2-7-3 (東京ビル)

仕様・機能に関するお問い合わせ

製品ごとにお問い合わせを受け付けております。

●電話技術相談窓口 受付時間※1 月曜～金曜 9:00～19:00、土曜・日曜・祝日 9:00～17:00

対象機種		電話番号	自動窓口案内 選択番号※7
自動窓口案内		052-712-2444	-
エッジコンピューティング製品	産業用PC MELIPC	052-712-2370※2	8
	Edgecross対応ソフトウェア (NC Machine Tool OptimizerなどのNC関連製品を除く)		
シーケンサ	MELSEC iQ-R/Q/Lシーケンサ(CPU内蔵Ethernet機能などネットワークを除く) MELSOFT GXシリーズ(MELSEC iQ-R/Q/L/QnAS/AnS)	052-711-5111	2→2
	MELSEC iQ-F/FXシーケンサ全般 MELSOFT GXシリーズ(MELSEC iQ-F/FX)	052-725-2271※3	2→1
	ネットワークユニット(CC-Linkファミリー/MELSECNET/Ethernet/シリアル通信)	052-712-2578	2→3
	MELSOFT統合エンジニアリング環境 iQ Sensor Solution	MELSOFT Navigator/MELSOFT Update Manager	052-799-3591※2
	MELSOFT通信支援ソフトウェアツール	MELSOFT MXシリーズ	052-712-2370※2
	MELSECパソコンボード	Q80BDシリーズなど	
	WinCPUユニット/C言語コントローラ/C言語インテリジェント機能ユニット		
	MESインタフェースユニット/高速データロガーユニット/高速データコミュニケーションユニット/OPC UAサーバユニット		
	システムレコーダ		052-799-3592※2
	MELSEC計装/iQ-R/Q二重化	プロセスCPU/二重化機能 SIL2プロセスCPU (MELSEC iQ-Rシリーズ)	052-712-2830※2※3
		プロセスCPU/二重化CPU (MELSEC-Qシリーズ)	
		MELSOFT PXシリーズ	
		安全シーケンサ (MELSEC iQ-R/QSシリーズ)	
	MELSEC Safety	安全コントローラ (MELSEC-WSシリーズ)	052-712-3079※2※3
			2→8
	電力計測ユニット/絶縁監視ユニット	QEシリーズ/REシリーズ	052-719-4557※2※3
			2→9
	FAセンサ MELSENSOR	レーザ変位センサ	052-799-9495※2
		ビジョンセンサ	
		コードリーダ	
	表示器 GOT	GOT2000/1000シリーズ	052-712-2417
		MELSOFT GTシリーズ	4→1 4→2
	SCADA GENESIS64™		052-712-2962※2※6
	サーボ/位置決めユニット/モーションユニット/ シンプルモーションユニット/モーションコントローラ/ センシングユニット/組込み型サーボシステムコントローラ	MELSERVOシリーズ	-
		位置決めユニット (MELSEC iQ-R/Q/Lシリーズ)	1→2
		モーションユニット (MELSEC iQ-R/iQ-Fシリーズ)	1→2
		モーションソフトウェア	1→1
		シンプルモーションユニット (MELSEC iQ-R/iQ-F/Q/Lシリーズ)	1→1
		モーションCPU (MELSEC iQ-R/Qシリーズ)	1→2
		センシングユニット (MR-MTシリーズ)	1→1
		シンプルモーションボード/ポジションボード	1→2
		MELSOFT MTシリーズ/MRシリーズ/EMシリーズ	1→2
	センサレスサーボ	FR-E700EX/MM-GKR	052-722-2182
	インバータ	FREQROLシリーズ	052-722-2182
	三相モータ	三相モータ225フレーム以下	0536-25-0900※2※4
	産業用ロボット	MELFAシリーズ	052-721-0100
	電磁クラッチ・ブレーキ/テンションコントローラ		052-712-5430※5
	データ収集アナライザ	MELQIC IU1/IU2シリーズ	052-712-5440※5
	低圧開閉器	MS-Tシリーズ/MS-Nシリーズ US-Nシリーズ	052-719-4170
	低圧遮断器	ノーヒューズ遮断器/漏電遮断器/MDUブレーカ/気中遮断器 (ACB) など	052-719-4559
	電力管理用計器	電力量計/計器用変成器/指示電気計器/管理用計器/タイムスイッチ	052-719-4556
	省エネ支援機器	EcoServer/E-Energy/検針システム/エネルギー計測ユニット/ B/NETなど	052-719-4557※2※3
	小容量UPS (5kVA以下)	FW-Sシリーズ/FW-Vシリーズ/FW-Aシリーズ/FW-Fシリーズ	052-799-9489※2※6

お問い合わせの際には、今一度電話番号をお確かめの上、お掛け間違いのないようお願いいたします。

※1：春季・夏季・年末年始の休日を除く ※2：土曜・日曜・祝日を除く ※3：金曜は17:00まで ※4：月曜～木曜の9:00～17:00と金曜の9:00～16:30

※5：受付時間9:00～17:00 (土曜・日曜・祝日・当社休日を除く) ※6：月曜～金曜の9:00～17:00

※7：選択番号の入力は、自動窓口案内冒頭のお客様相談内容に関する代理店、商社への提供可否確認の回答後をお願いいたします。

三菱電機 FA

検索

www.MitsubishiElectric.co.jp/fa

メンバー登録無料!

インターネットによる情報サービス「三菱電機FAサイト」

三菱電機FAサイトでは、製品や事例などの技術情報に加え、トレーニングスクール情報や各種お問い合わせ窓口をご提供しています。また、メンバー登録いただくとマニュアルやCADデータ等のダウンロード、eラーニングなどの各種サービスをご利用いただけます。

本マニュアルは、輸出する場合、経済産業省への役務取引許可申請は不要です。

L(名)08834-A(2203)MEE

2022年3月作成

このドキュメントに掲載した内容は、予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。